

請願第3号 介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充に についての請願書

討論一覧（討論順掲載）

賛成討論 門原武志 議員

社会保障拡充の財源はある

この請願書は、愛知自治体キャラバン実行委員会が毎年県と県内全市町村を訪問し、社会保障施策の担当者と懇談したうえで提出したものである。内容は、介護保険料や利用料、国民健康保険税の負担軽減、学校給食費の無償化など子育て支援策の拡充を町に求めている。また、介護施策では人材確保のため1人夜勤をなくすことを要望し、東郷町の施設ごとの夜勤体制の実態もアンケートで把握し資料として公表している。要望事項は多いが、すべて町が即時実施するものではなく、国に財源を求める意見書提出も含まれている。国は給食費の無料化はしないと言ってきたが、自民党と維新の会が合意したら来年度から無料化すると言いつ出した。その気になればお金はあるということだ。

反対討論 中野まさひろ 議員

本町の財政のみでは実現不可能な内容に反対

請願団体の自治体キャラバンの「介護・福祉・医療などの社会保障の施策充実を目指す活動」が、長年にわたり、国や自治体に対し社会保障施策の前進を促してきたことに、まずは、心から敬意を表します。また、本請願の多岐にわたる要望の中には、賛同できる項目が数多く含まれていることも、率直に認めるところであります。

本請願は一括して採否を判断することを求めています。請願項目の中には、基礎自治体である本町の権限や財政規模を大きく超える内容が多々含まれております。

介護・障がい者施設における一人夜勤の解消や夜間複数配置の実現は、介護・障がい福祉の質と安全性を高める重要な課題であります。しかし、その実現のためには、国が人員配置基準や報酬体系を抜本的に見直し、全国一律で持続可能な仕組みを構築することが不可欠であり、町の財政のみで肩代わりすることは現実的ではなく、反対致します。